



特定医療法人社団

鵬友会 ニュースレター

鵬友会ホームページ アドレス
<http://www.hoyukai.org/>

第201号

発行:2023年1月15日

発行責任者:

特定医療法人社団 鵬友会

年頭所感

～ 健康診断は健康を守る最大の武器 ～

医療法人社団鵬友会 常務理事 池島 守



新年あけましておめでとうございます。
旧年中は、皆さまより格別なるご支援とご厚誼を賜り誠にありがとうございました。

新型コロナウイルス感染症が世界に広がり早3年余りがたとうとしています。オミクロン株が日本でも拡散し、大変な時期がありました。また、インフルエンザの同時感染の懸念もあり、これからも感染予防に留意しながら生活していただくようお願い致します。

昨年を振り返ってみますと、「ロシアがウクライナに侵攻」「安倍晋三元首相銃撃死と統一教会問題」「北朝鮮がミサイル連射」という物騒なニュースや「円安加速」「エリザベス女王崩御」「プロ野球、村上宗隆選手の快進撃」「サッカーワールドカップ日本代表の活躍」等々とさまざまなことが起こった年でありました。そんな中、当法人の昨年は、11月7日に2024年春開院予定の【ゆめが丘病院（新病院）】の地鎮祭を行いました。この新病院は湘南泉病院の機能を『ゆめが丘駅前』に移転・拡大する計画で、ゆめが丘駅前に移転することでアクセスを向上させ、手術室を増やすなど設備を拡充して地域の救急医療ニーズに応えたいと考えています〔地上5階建、病床数156床。うち8床は高度治療室（HCU）〕。健診プラザも併設し、地域の皆さまの生活習慣病をはじめ、さまざまな病気の早期発見・早期治療はもちろん、病気そのものを予防していきます。また、ゆめが丘地区は同時期に向けて商業施設やマンションなどの開発も予定されており、今後の泉区での新しいまちづくりに向けて、医療の分野で貢献していけるよう力を尽くしていく所存です。その後、現在の湘南泉病院は改修工事を行い、新中川病院の機能を移転する予定です。

さて、皆様もご承知のとおり、我が国は世界に類を見ない少子・超高齢社会を迎えており、まもなく65歳以上の方1人を現役世代1.5人で支えなくてはならない時代がやってきます。次世代への負担を軽減し、日本を維持可能な社会にするためには、若い時から健康に留意することが重要です。そのためにも健診プラザを新病院に併設する計画を立てました。

健康診断は健康を守る最大の武器であります。それにもかかわらず、消極的な方が見受けられます。「病気を発見されるのが怖い」とか「健康診断なんて面倒だ」という方、また「自分は決して病気にならないんだ」と思い込んでいる方などいろいろありますが、これらの方にかぎって発見時にはかなり病気が進行しており、取り返しのつかない状態に至っていたというケースをよく耳にします。人間は25歳あたりをピークに一日一日老化していきます。若さと健康に自信があっても老化は避けられない事実です。老化に伴ってからだの中ではさまざまな変化が起きており、この変化を知る意味でも健康診断の必要性が高まってきます。「そのうち」とか「いつか」などと考えずに、今すぐ受けるように心がけましょう。特に家族や親戚に高血圧、糖尿病の方がいらっしゃる場合は、遺伝的な要因などを考えて、35歳以下であっても生活習慣病健診を受診しておいたほうが安心です。この文章を読み、健康診断を受けたいと思われた方は、お近くの医療機関や当法人の病院・クリニックでもご予約は可能です。行動しましょう。

末筆ながら、本年も新たな活躍に向けて職員一同邁進してまいります。今後ともよろしく願い申し上げます。

新病院について

2024.04.01
NEW HOSPITAL

湘南泉病院が
ゆめが丘駅前に移転・拡大します。
【 ゆめが丘病院 】



湘南泉病院の機能をゆめが丘駅前に移転・拡大し、アクセスを向上させ、手術室を増やすなど設備を拡大して地域の救急医療ニーズに応えていきます。



地鎮祭 R4. 11. 7

